

特別委員会の活動評価について

今期（令和3年5月～）

1 チェックシートによる評価

令和5年2月28日(火) 花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会

- (1) **資料5-2**の特別委員会活動チェックシートの項目を参考に、今までの委員会活動を振り返り、良かった点、改善すべき点等を委員間討議する。
- (2) 委員間討議の後、正副委員長、各委員がそれぞれチェックシートに評価点等を記載して提出する。
- (3) (1)での委員間討議及び各委員等が付けた点数の平均を基に、次期委員会等への引継ぎ事項等について協議し、委員会活動評価総括表を決定する。

2 委員長会議での報告及び確認

令和5年3月15日(水) 委員長会議（予定）

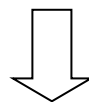
各委員長から、委員会活動評価総括表により、委員会活動の評価を報告するとともに、委員長間で共有すべき取組等を確認し、また、次期委員会等への引継ぎ事項についても協議する。

※ 委員長会議開催後に委員会を開催した場合には、「委員会活動評価総括表」への補足の有無・内容について当該委員会において協議し、補足後の「委員会活動評価総括表」を委員長から議長に提出する。

3 代表者会議への報告

令和5年3月16日(木) 代表者会議（予定）

議長から、令和4年度の委員会活動の実施状況を報告し、次期改選後議会への申し送り事項として決定する。（なお、「4年間を通した議会活動の評価及び次期改選後議会への提言」の申し送りについても決定する予定）



改選後（令和5年5月～）

4 改選後議会への申し送り

3月16日の代表者会議（予定）で報告された令和4年度の委員会活動の実施状況については、「4年間を通した議会活動の評価及び次期改選後議会への提言」と併せて、改選後議会に申し送られる予定。

特別委員会活動チェックシート

このチェックシートは、「三重県議会議会活動計画」に基づき、毎年次の委員会活動について自己評価を行うものです。

「基本方針」を踏まえて、今年次の特別委員会活動を振り返り、それぞれの「評価対象項目」について、「取組の方向」や「評価の視点」を参考にして、委員の皆さんで自己評価(5段階評価)を行ってください。

【チェックシートを記入するにあたっての注意事項】

<p>■点数の基準</p>	<p>○委員個人の評価とします。</p> <p>○基準となる点数は「3点」とします。</p> <p>1点・・・「ほとんどできなかった」「不満足」</p> <p>2点・・・「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」</p> <p>3点・・・「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」</p> <p>4点・・・「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」</p> <p>5点・・・「ほぼ完璧にできた」「十分満足」</p>
<p>■評価できない項目 (該当なし「-」)</p>	<p>○チェックシートを記入する前に、委員間で協議を行い、評価項目に含めるか否か(「-」とするか否か)を委員会として決めます。</p>

特別委員会活動チェックシート

委員会名(花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会)

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

番号	評価対象取組	取組の方向	評価の視点	評価	自由記載(評価点の理由や気づいた点)
1	委員会審議の活性化	議事機関としての議会の機能を十分発揮するため、議員相互間の討議を積極的に行うよう努めます。 また、効率的かつ効果的な委員会の運営を図るため、委員長会議の開催をはじめとした委員会間の情報共有・調整及び連合審査会の活用に努めます。	議員間討議の機会は十分に確保されていましたか。 議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。		
2	年間活動計画	効率的かつ効果的な委員会の運営を図るため、1年間の活動スケジュール、重点調査項目、県内外調査等の予定について定める年間活動計画を策定します。	年間活動計画の策定に当たって、委員会で十分に議論を行いましたか。 年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。		
3	重点調査項目	県政で課題となっている項目など、年間を通じて特に調査を行っていく必要がある事項を「重点調査項目」として年間活動計画で定めます。	重点調査項目の設定に当たって、委員会で十分に議論を行いましたか。 重点調査項目の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。		
4	県内外調査	「重点調査項目」を中心として、所管事項について調査するための県内外調査の予定を年間活動計画で定めます。	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。		

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	取組の方向	評価の視点	評価	自由記載(評価点の理由や気づいた点)
1	参考人制度等の活用	県政の重要な案件又は県民の利害に関わる重要な案件の調査・審査に当たっては、専門的知識を有する者のほか、利害関係者や県民の意見を反映させるため、必要に応じて参考人の招致や公聴会の開催を行います。	必要に応じて、参考人招致や公聴会の実施について協議を行いましたか。 参考人招致や公聴会における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。		
2	請願への対応	受理した請願については、主として所管の委員会において、誠実かつ慎重に審査を行います。また、採択した請願については、必要に応じて、知事等に対しその処理の経過及び結果の報告を求めるほか、国等に対し意見書を提出するなど、議会として願意の実現に向けた取組を行います。	請願審査は適切な方法で実施しましたか(執行部からの意見聴取や紹介議員の出席要求、請願者の参考人招致など)。 採択した請願の願意の実現に向けて、具体的な取組を行いましたか。(知事等に対する経過報告等の要求、知事等への申し入れ、意見書の提出など)		

特別委員会活動計画（実績）書

花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会（令和3年5月～令和5年3月）

令和5年2月28日現在

1 所管調査事項

- ・ アフターコロナを見通し、花や木で美しい三重のまちづくりを進めていくこと等により、心身ともに健やかな県民の暮らしを実現するための条例の策定に向け、調査・検討を行うこと

2 重点調査項目

- ・ 花や木に関する生産から生活環境の美化、まちづくり等における活用までの実態調査をするとともに、花や木をきっかけに人と人がつながり合う、実効性のある条例案の検討を行う。

3 活動計画（実績）表

重点調査項目	令和3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和4年1月	2月	3月
上記2のとおり 調査方法 ○当局からの説明聴取 ○法令・条例の調査 ○参考人招致 ○県内外調査 ○委員間討議など	令和3年4月 令和4年4月	委員会設置 5/18 委員会 正副委員長の選任 5/31 委員会 重点調査項目及び活動計画の検討	6/28 委員会 当局からの説明聴取 委員間討議	7/7 委員会 参考人招致 委員間討議 県内調査 7/14				11/4 委員会 法令・条例の調査 委員間討議	12/7 委員会 参考人招致 委員間討議 12/21 委員会 条例案の方向性の整理 委員間討議		2/15 委員会 条例案の方向性の整理 委員間討議 2/22 委員会 条例案の方向性の整理 委員間討議 県外調査 2/22	3/31 委員会 当局からの説明聴取 委員間討議
		令和4年4月 4/26 委員会 条例案の方向性の整理 委員間討議	5月 5/19 委員会 副委員長の選任 5/31 委員会 活動計画の検討 条例案の検討 委員間討議	6月 6/27 委員会 条例案の検討 委員間討議 県外調査 7/12・13	7月 県外調査 7/12・13	8月 8/3 委員会 条例案の検討 委員間討議 8/29 委員会 条例案の検討 委員間討議	9月 9/16 委員会 条例案の検討 委員間討議 9/26 委員会 条例案の検討 委員間討議	10月 10/13 委員会 条例案の検討 委員間討議 10/27 委員会 条例案の検討 委員間討議	11月 11/15 委員会 条例案の検討 当局意見聴取 委員間討議 関係者意見聴取	12月 12/5 委員会 条例案の検討 委員間討議 12/15 委員会 条例案の検討 委員間討議 パブリックコメント (12/22-1/23)	令和5年1月 2/28 委員会 条例案の取りまとめ・提出	2月 2/2 委員会 条例案の検討 委員間討議 2/7 委員会 条例案の検討 委員間討議 2/28 提出前に全員協議会で説明

4 県内外調査について

(1) 県内調査

令和3年7月14日（水）（日帰り） 市民の方と協働した花に関する取組（熊野市役所、国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所熊野維持出張所）などについて調査を行った。

(2) 県外調査

令和4年2月22日（火）（オンライン形式） 「花と緑の元気とやま創造プラン」及び同プランに係る取組（富山県）などについて調査を行った。

令和4年7月12日（火）～13日（水）（1泊2日） 富山県にて花と緑の推進に関する取組に係る仕組みづくりなどについて調査を行った。

花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会
参考人一覧

○ 令和3年7月7日

内容：花や木に関する生産から生活環境の美化、まちづくり等における活用について

一般社団法人 J F T D 花キューピット 58 三重支部

支部幹事 ^{おくだ} 奥田 ^{まこと} 誠 氏

公益社団法人日本フラワーデザイナー協会三重県支部

支部長 ^{せお} 瀬尾 ^{ひなこ} 日南子 氏

三重県インドアグリーン協会

会長 ^{やながわ} 柳川 ^{のぶひろ} 信裕 氏

株式会社伊勢生花地方卸売市場

代表取締役 ^{たねだ} 種田 ^{かずひろ} 加寿宏 氏

○ 令和3年12月7日

内容：花き市場の状況について

愛知名港花き卸売事業協同組合

副理事長 ^{ほその} 細野 ^{ときひさ} 時久 氏

内容：花きの持つ効用について

千葉大学環境健康フィールド科学センター自然セラピー研究室

特任研究員 グランドフェロー ^{みやざき} 宮崎 ^{よしふみ} 良文 氏